

2023年2月28日
商工中金

増産に向けた体制を整備し、省エネ・省資源化に取り組む 株式会社豊田電研様をポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じてお客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献しています。

商工中金（名古屋支店）は、株式会社豊田電研様（本社：愛知県名古屋市、代表者：豊田 邦裕様）に対し、EV・自動運転車部品の受注に向けたライン増設に必要な資金3億5,000万円を融資しました。本融資には、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、1917年（大正6年）に創業した、めっき・アルマイト加工による表面処理業者です。高い技術力を背景に、試作から製造、検品まで一貫して対応可能な点が特長です。

今回、同社は、EV・自動運転車部品の受注体制の整備、省エネ・省資源化、廃棄物削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに配慮した各種のKPI（注）を設定。経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

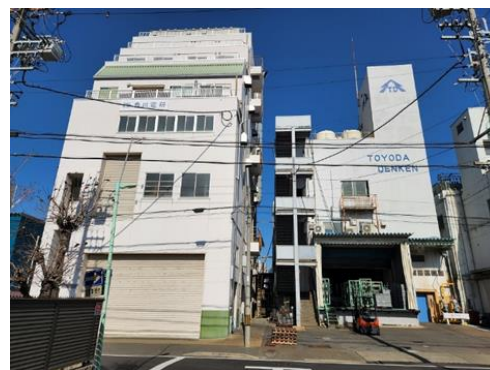
（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援をしていきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社豊田電研様の概要】

所在地	愛知県名古屋市中区金山5-4-31
代表者	豊田 邦裕様
資本金	5,200万円
従業員数	88名（2022年12月現在）
設立	1962年4月
業種	各種表面処理業



【本社および本社工場】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

社会全体のサステナビリティ向上 (環境・社会・経済)

インパクト



- お客さまの経営支援
- 持続可能な社会実現への貢献

- サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ステークホルダー（仕入/販売先・従業員・地域関係者等）との共感・関係強化